

第2回佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画策定委員会
次第

日時：令和5年9月28日（木） 10：00～

場所：佐賀市立図書館大集会室

参加者：策定委員会委員

青木茂建築工房

佐賀市 図書館ほか関係職員

次第

1. 挨拶
2. 策定業務の進捗について
 - (1) 株式会社青木茂建築工房より報告
 - (2) 図書館より報告
3. 基本構想案の説明（青木茂建築工房）
4. その他

市立図書館本館に関する市民意向調査結果

令和5年度 佐賀市民意向調査

※有効回収数 1,135人 補正後の母数 10,663件、
うち60代以上 5,973件、30代以下 1,618件

1 市立図書館本館の利用（来館）状況

利用（来館）の頻度	全体の割合	うち30代以下	うち60代以上
おおむね週1回以上	2.1%	2.3%	2.8%
おおむね月1回以上	6.4%	5.4%	6.1%
数か月から半年に1回程度	9.2%	10.3%	8.5%
1年に1回程度	6.2%	8.2%	4.7%
定期的ではないが、利用したことがある	40.9%	55.6%	31.9%
利用したことがない	33.0%	18.2%	42.4%
無回答	2.1%	0.0%	3.6%

合計 80.1%

○市立図書館本館を利用したことがない人や、利用頻度が少ない人が、全体の約80%を占めている。

2 利用しやすくなるために充実すればいいと思う機能

充実を求める機能	全体の希望割合	うち30代以下	うち60代以上
静かに読書ができる スペース	44.9% (1位)	48.1% (2位)	38.6% (1位)
駐車場の充実	38.7% (2位)	45.2% (4位)	30.0% (2位)
個人毎に区切られた 読書スペース	34.3% (3位)	47.0% (3位)	25.5% (4位)
Wi-fiや電源利用が 可能なスペース	30.9% (4位)	57.7% (1位)	15.6% (9位)
新たな交流が生まれる スペース	28.1% (5位)	33.9% (8位)	26.6% (3位)
軽食や物品の販売	27.1% (6位)	38.5% (5位)	20.1% (5位)

子どもが過ごしやすい スペース	24.2% (7位)	36.2% (6位)	19.6% (6位)
飲食しながら読書できる スペース	22.9% (8位)	35.0% (7位)	16.1% (8位)
グループ学習や活動が できるスペース	22.0% (9位)	28.9% (9位)	17.4% (7位)
作品展示、活動発表が できるスペース	15.9% (10位)	17.1% (10位)	15.6% (9位)
無回答	18.7%	3.6%	27.7%

- 高齢層は静かに読書ができるスペースを最も多く望んでいるが、若年層は、それ以上にW i - f i や電源を利用できるスペースの整備を望んでいる。
- 高齢層の30%近くは、質問に無回答。

3 その他の調査等（参考）

◎令和5年度 図書館利用者アンケート

（有効回収数 348 件、調査期間：5/11-5/24）

- 現在の利用者は現状の建物やサービスに対してほぼ満足している。

◎「さが未来発見塾 in 佐賀市」（佐賀新聞社主催）

（市内高校生 16 人、活動期間：5/12～7/7）

- ワークショップや取材を通じて未来計画を提案
「五感で楽しむ」市立図書館

◎メッセージボードによる意見収集（主に小中学生）

（有効回答数 487 件、実施期間：7/21～8/30）

- 市民意向調査と同様の意見が多かったが、小中学生ならではの傾向も見られた。（駐車場関係は少なく、マンガ関係が多い）

◎街頭ヒアリング

（9/16, 17, 18、イベント会場や駅の周辺でヒアリング実施）

◎ワークショップ

（9/23 実施、10/29 予定、参加者：18 人）

◎令和5年度 図書館利用者アンケート

※有効回収数 348 件、調査期間：5/11-5/24

○現在の利用者の満足度

調査項目	「満足」「やや満足」の割合	【参考】令和4年度結果
図書館の居心地	95.6%	95.7%
貸出・返却の利用具合	94.3%	95.6%
調べものコーナーの利用具合	94.2%	94.5%
児童コーナーの利用具合	94.8%	96.9%
開館時間、開館日数	87.7%	90.2%

佐賀市立図書館大規模改修事業に対する市民（主に小中学生）の意見

連番	大分類	件数	割合	小分類	件数	割合	主な意見
1	館内間取・配置	135	28%	閲覧・学習スペース	73	15%	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧席数を増やして欲しい。 ・学習スペースが増えるといい。 ・一人で読書できるスペースがほしい。 ・スタッフに聞かなくてもわかるような子供に分かりやすい配架 ・障がいのある人が声を出してもいいコーナーがほしい。 ・小さい子どもが遊べるスペースがあってほしい。
2				配架・レイアウト	23	5%	
3				間取り全般	22	5%	
4				キッズスペース	17	3%	
5	館内環境	125	26%	トイレ	58	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレを増やして欲しい。 ・トイレをきれいにしてほしい。 ・トイレを洋式にしてほしい。 ・空調設備を改善してほしい。空気の流れが悪い。 ・照明を明るくして欲しい。 ・柔軟剤のにおいで本は読めない。香害対策をしてほしい。 ・検索用PCの台数を増やして欲しい。 ・検索方法をもっとわかりやすく。 ・Wifi環境を充実して欲しい。
6				館内環境	34	7%	
7				検索	18	4%	
8				インターネット環境	7	1%	
9				カート	4	1%	
10				表示	4	1%	
11	図書資料	96	20%	本リクエスト	57	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の本をもっと展示してほしい。 ・子ども向けのシリーズ（本）を増やしてほしい。 ・流行りのマンガを増やしてほしい。
12				マンガ	39	8%	
13	設備	37	8%	その他施設	12	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニがあるといい。 ・アスレチック施設が欲しい。 ・遊具がほしい。 ・2階の書庫へ行けるエレベーターがほしい。 ・端末を増やしてほしい。 ・椅子を増やしてほしい。
14				設備	11	2%	
15				椅子・ベンチ・机	10	2%	
16				借りた本の履歴	4	1%	
17	運営	37	8%	運営	25	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時間を延ばしてほしい。 ・ドライブスルーで本を返したり、予約の本を受け取ったりできたらいいな。 ・借用手続き前の本も持ち込める学習室が欲しい。 ・図書館の近くで祭りを ・防犯面の充実を望む（防犯カメラの設置） ・選書の間、赤ちゃんを預かってもらいたい。
18				イベント	6	1%	
19				防犯	4	1%	
20				託児	2	0%	
21	飲食	23	5%	飲食	23	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・スターバックスコーヒーを入れて欲しい。 ・飲食ができるところを増やしてほしい。
22	館外・周辺	20	4%	館外・周辺環境	10	2%	<ul style="list-style-type: none"> ・噴水を設置してほしい。 ・木陰の充実を ・駐車場をもっと広くしてほしい。
23				駐車場・駐輪場	10	2%	
24	建物	5	1%	建物	5	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・正面の大きな窓のシート（遮熱シート）を貼り替えてほしい。見映えが悪い。 ・災害に強い図書館にしてほしい。
25	その他	9	2%	現状肯定	5	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・このままの感じの図書館がいい。 ・アプリを分かりやすくして欲しい。 ・POPの充実を
26				その他	4	1%	
合計		487	100%		487	100%	

水路に囲まれた佐賀らしい風景と、区域内の専用道路のあるユニークな区画です。樹形が非常に整った美しい樹木が多く、秋にはメタセコイヤの並木を眺めに市内外から人が訪れます。



公園の広場側は貯水池の機能がある



専用の周回道路があり安全である



メタセコイヤ並木が美しい



～どんだんどの森（どん3の森）の名前の由来～

佐賀弁の3拍子の言い回しを使い、躍動感あふれる太鼓の音の「どんだんどん」と、「どんだんどんと突き進む」これからの佐賀市の発展と、いつまでも市民の憩いの場所でありつづけて欲しいという願いが込められています。

Point

敷地周辺に水辺がある

樹形が美しくどこからでも緑が見える

整備が行き届いている広場

アバンセとのつながりがあまり無く、カフェの機能が重複している



現状分析 —敷地や建物の分析—



階段が奥にあり、2階の存在に気づきにくい



開架の割合が大きく、閉架が少ない



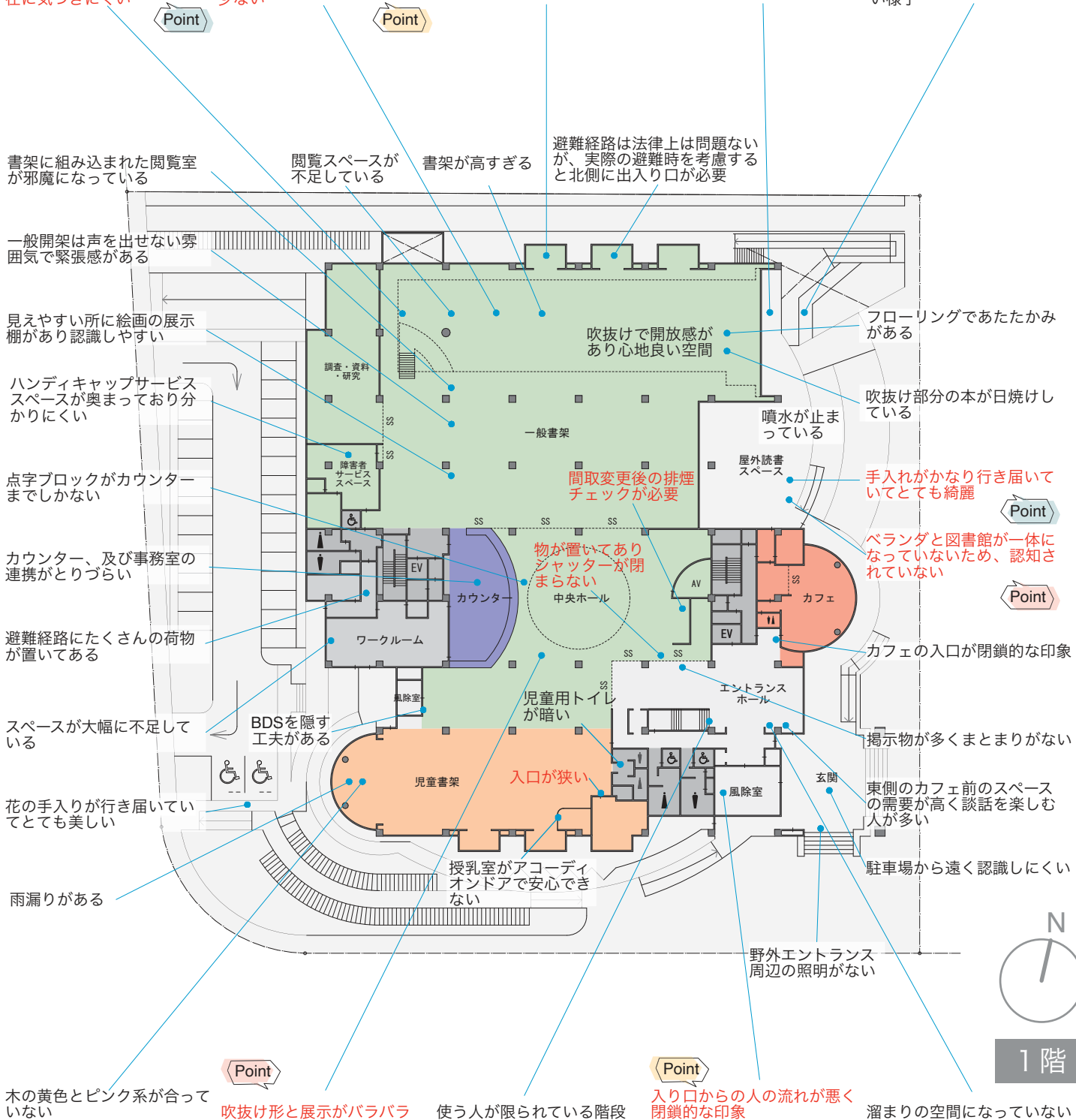
明るくて落ち着く小スペース



断熱フィルムがはがれている



公園利用者に認識されていない様子





現状分析 —敷地や建物の分析—



通路に物を多数置いてあり面積が不足している



吹抜けで心地良いが開覧スペースがほとんどなく、活かせていない



ギャラリーの視認性が低い



書架の死角が多く、カウンターもないため防犯性が低い



バルコニーが活かされていない

Point

Point

2階の開架がわかりにくい

書架の間隔が狭いため身障者が利用しづらい

漏水があり、上階に電気室があるため大変危険な状態

更衣室として使用しているがガラス張りになっている

身障者はEVから開き扉を経由するため、利用しづらい

倉庫として使用されていて物の整理ができていない

荷物で窓を塞いでいる

図書館とホール・会議室ゾーンが別々の空間となっている

電波時計が受信できない

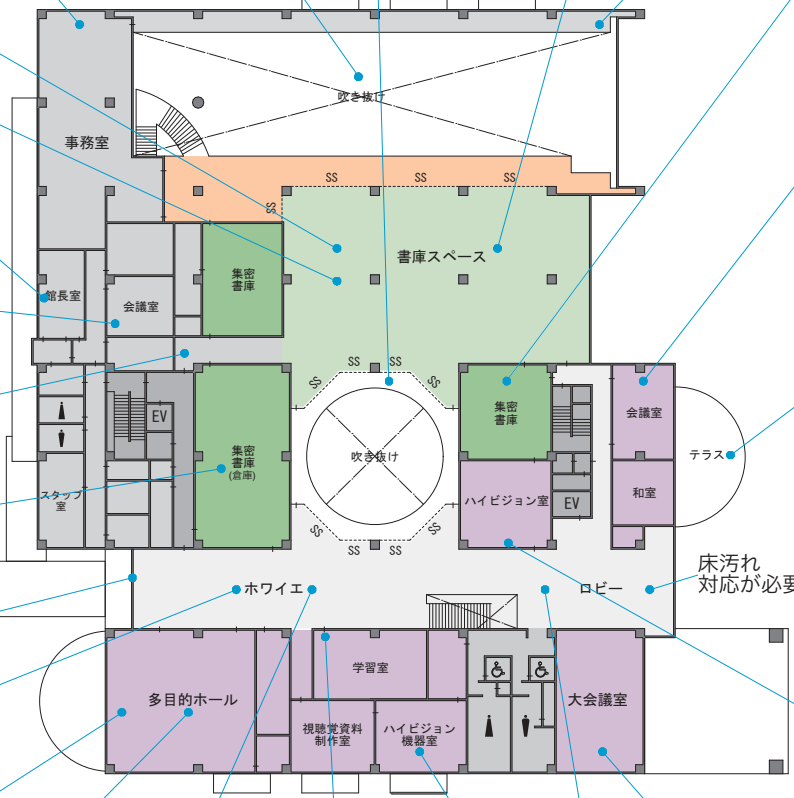
機器が充実し、吹抜けで開放感がある

ホワイエが広すぎて有効活用しづらい

プラン変更部分の排煙チェックが必要

用途の整理が必要

大会議室は使用頻度が高い



倉庫として使用されている

ボランティア室が狭くカウンターや事務室との連携が図りにくい



テラスとのつながりが無い

Point



ハイビジョンのみの用途のため利用が限られている

床汚れ対応が必要

wi-fiの範囲が狭い



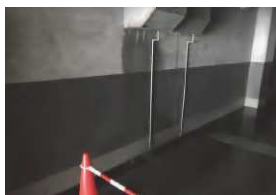
2階



現状分析 —敷地や建物の分析—



止水板の設置に手間がかかる



水害対策に不安がある



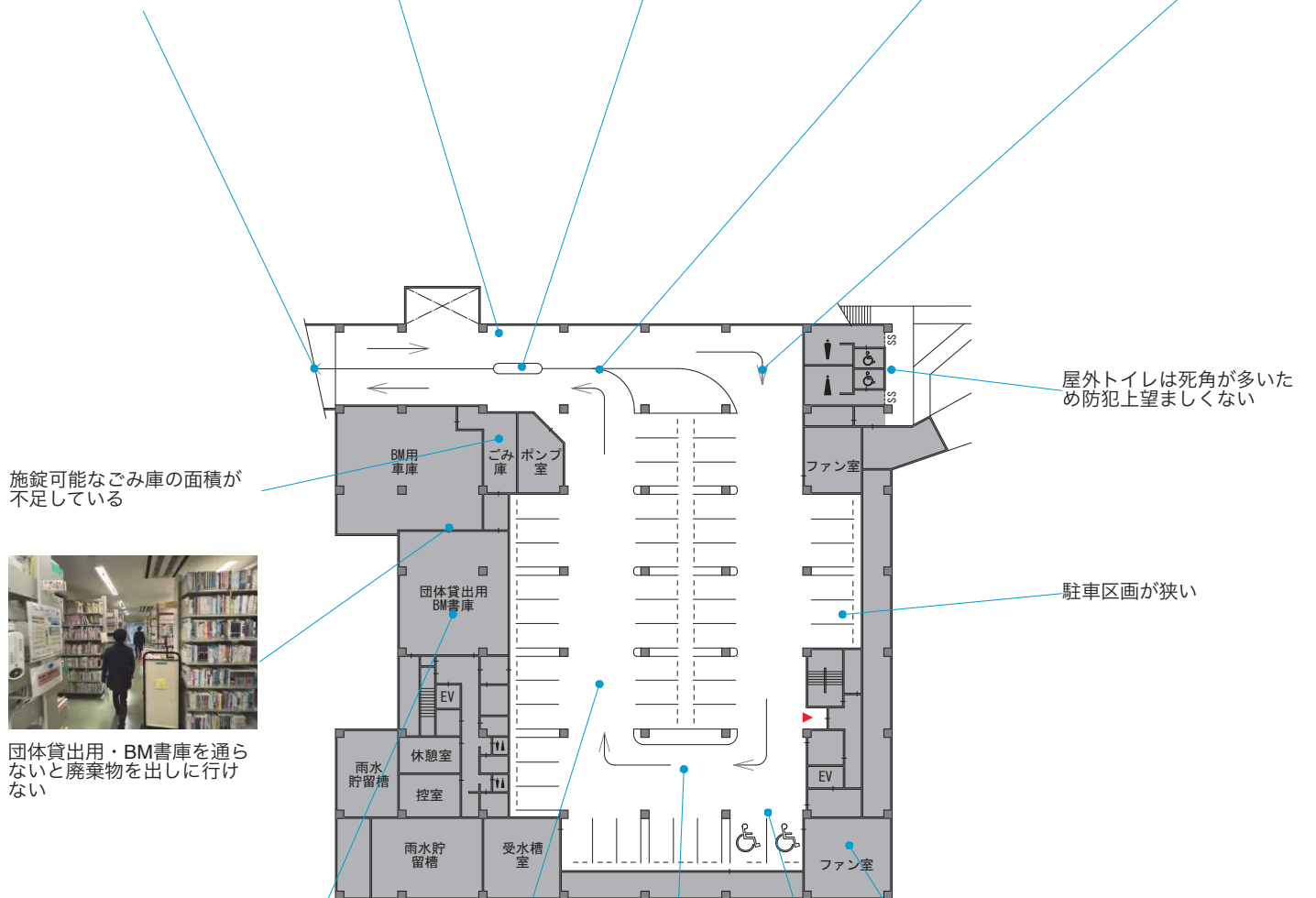
ゲートが使われていない



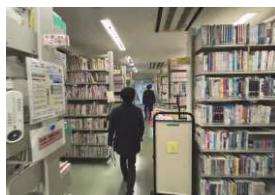
回転範囲が狭く大型車は不便



道路幅は十分で安全性が高い



施錠可能なごみ庫の面積が不足している



団体貸出用・BM書庫を通らないと廃棄物を出しに行けない

屋外トイレは死角が多いため防犯上望ましくない

駐車区画が狭い

団体貸出用・BM書庫の湿度が高い



サインがないため場所がわかりづらい



駐車場内の照明が暗い



Point
身障者が安全に移動できる通路がない



換気が十分に機能していない



地下1階

運用・サービス面や利用者目線の課題を次の表にまとめます。部屋の構成や什器の更新により対応可能なものと、根本的な仕組みから改善が必要なものも見られます。人員が不足することによりサービスの低下が起こりうる点や、関係部署との連携が取れていないことで公園とつながる機会を損失している点については、特に重要な課題です。大規模改修に合わせて、運用計画の見直しが必要です。

運営側の課題	蔵書管理	開架の割合が多いため管理の手間がかかり、バックヤードの面積も多く必要（現在不足している）。 バーコードによる管理のため、読み取りに手間がかかる。 バーコードによる管理のため、大型本など自動貸出機に対応できないものがある。 AV関係は〜〜のため、管理が煩雑になる。 セキュリティゲート(BDS)の動作状況、効果が不明。 書架の高さが高いため、メンテナンスしにくい(取り出し、蔵書点検等)。 予約件数が多く、対応の負担が大きい(受付手配、連絡、管理、棚の不足)。 団体貸出は一人の司書が53校の学校貸出に対応しており、余裕がない。
	防犯	スタッフゾーンと一般ゾーンの境界が明確でないため、一般利用者がスタッフゾーンに入ってきてしまう。 棚が高く、死角が多い。 警備員及び職員が見回りをしているが、人手が不足しているため、巡回できない場合もある。 職員間の連絡手段がなく、広い敷地・建物内での緊急対応が難しい。 地下の団体貸出は夕方以降に職員が一人のみ在室のため防犯性が低い。 カメラの設置台数が少ない。
	図書館システム	システムを令和5年に更新済みのため、本計画では更新の検討は不要。 サーバー室の大きさ、空調など、物理的な問題がある。 外部サーバーへの移行を検討しているが、外部に移行しない場合は、サーバー室の改善が必要。
	自動車図書館	車両が大きすぎて扱いづらいため、小型車が必要（大型車は専用のドライバーが必要）。 1台で市内全域を回っているため、本館だけで賄うのは職員の負担が大きすぎる。 職員が不足しており、オペレーションが間に合っていない。
	ボランティア	ボランティアと職員間の連携が図りづらい。 ボランティアの作業スペースが少なく、周囲からも活動が認識されにくい。
	その他	バックヤード機能の整理が必要。
利用者へのサービスの課題	図書利用	書架が高く本を取りづらい。 予約本のセルフ貸出ができないため、利用者の心理的抵抗がある。 対面朗読室と録音室の利用が重複するため、それぞれの専用の部屋が必要。
	貸館	使用条件が厳しく、利用しづらい状況。 図書館職員が他の業務と並行して予約受付や開錠・施錠の対応をしており、余裕がない。 図書館との関係性が低い利用目的となっており、貸出可否の判断に苦慮している。
	公園管理担当部署との連携	公園のイベント情報が共有されていないため、連携しづらい状況。 公園利用の条件が厳しく、イベント利用しづらい。 イベント用資材の搬入ルートが明確でないため、図書館利用者動線と交差し危険。
	情報発信	若者の来館が減っており、情報発信のアピールが不足している。